

Japanese Examined Utility Model Publication No.: 43-28104

Publication Date: November 20, 1968

Title of the Invention: Convenient razor

Application No.: 42-76499

Date of Application: September 8, 1967

Applicant(s): Kaijirushi Kamisori K.K.

Inventor(s): Saijiro Endo

Abstract:

A razor has a blade and a handle extending in the longitudinal direction and a plurality of cleats formed on the handle.

軽便剃刀

実 願 昭 42-76499
出 願 日 昭 42.9.8
考 案 者 遠藤斎治朗
関市千年町2の1
出 願 人 貝印カミソリ株式会社
関市千年町2の5
代 表 者 遠藤斎治朗
代 理 人 弁理士 土井整 外1名

図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例を示す一部截断した正面図、第2図は他の実施例を示す一部截断した正面図、第3図は第1図及び第2図のA-A'線断面図である。

考案の詳細な説明

本考案は軽便剃刀に係り前方に刃体挟着部1を設けた握柄部2に複数の透孔3又は長孔4を穿設

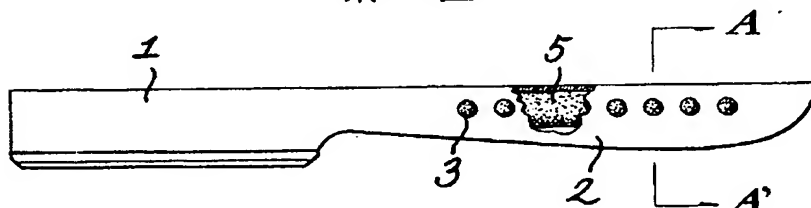
すると共に、内部に滑止体5を挾持し、該体5の一部を前記透孔3又は長孔4より膨出aしたことを特徴とする。

本考案は叙上のように構成され、握柄部2の透孔3又は長孔4より滑止体5の一部が膨出aしているため、この部分に手指が掛つて滑ることなく極めて安全に使用でき、また平らな面に置かれた場合等には、膨出aした部分はその載置面に接して握柄部2が浮き上がった状態となり手指で掴み取り易く、さらに滑止体5をモルトブレン等の柔軟性の樹脂により形成すれば軽量で手ざわりもよく、かつ滑止体5を適宜に着色すれば模様を形成して優美な外観を呈することができて一層の効果を上げることができると共に、製作は容易で製品を廉価に提供できる等実用上有益な考案である。

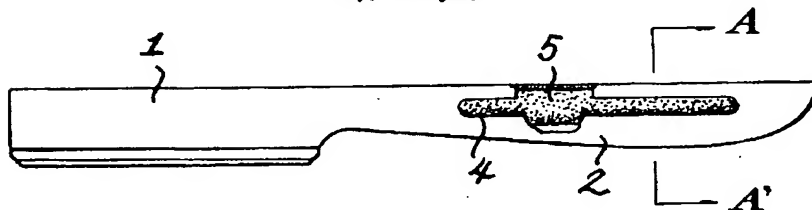
実用新案登録請求の範囲

前方に刃体挟着部1を設けた握柄部2に複数の透孔3又は長孔4を穿設すると共に、内部に滑止体5を挾持し、該体5の一部を前記透孔3又は長孔4より膨出aしたことを特徴とする軽便剃刀。

第1図



第2図



第3図

